

平成29年度第1回厚岸町総合教育会議 議事録

1 日 時 平成29年11月10日（金） 10時00分～11時15分

2 場 所 厚岸町役場庁舎 2階庁議室

3 出席者

(構成員)

町 長	若狭	靖
教 育 長	酒井	裕之
教育委員	田辺	正保
教育委員	濱	秀利
教育委員	平良木	宣行
教育委員	森脇	直美

(事務局)

総務課

課 長	松見	弘文
総務係長	水野	博嘉
主 任	岡村	健太郎

(教育委員会)

管理課長	高橋	敏晴
管理課長補佐	渡部	貴志
指導室長	山田	敏一
生涯学習課長	高橋	俊彦
情報館館長	福地	玲子

4 傍聴者 0人

5 内 容

○司会（総務課長）

ただいまから、平成29年度第1回厚岸町総合教育会議を開催いたします。
初めに、若狭町長から、ごあいさつを申し上げます。

○町長

皆さん、おはようございます。

挨拶を申し上げる前に、私から紹介をさせて頂きたいと思っております。

総合教育会議の事務局長は、総務課長になっております。

6月に町長選挙があつたわけで、人身一新ということで総務課長の人事があつたわ

けであります。

御承知のとおり、今までの総務課長は會田でありましたが、會田は副町長にしたわけであります。

その後任に、今、冒頭の司会を致しました松見が総務課長でございます。総合教育会議の事務局長となるわけでありますので、何卒御承知の程、お願いを申し上げる次第でございます。

本日は、平成29年度第1回目の厚岸町総合教育会議でございます。

教育長をはじめ各委員には、日頃から、厚岸町のまちづくりはもちろん厚岸町教育行政に対しての御尽力、心から感謝を申し上げます。次第でございます。

また、本日は大変お忙しいところ御出席いただき、感謝とお礼を申し上げます。次第であります。

御承知のとおり、今日の国における教育のあり方、極めて重要な時期を迎えております。変遷の時期と言っても良いのではなかろうかと考えるわけであります。

平成30年度からは学習指導要領も新しくなり、スタートを切ることになっております。

また、6・3・3・4制というのも70年を迎えて、今年が節目でございます。

そのような中で、厚岸町におきましては、平成27年4月1日に総合教育会議を設置し、同年8月には、教育大綱を管内町村に先駆けて策定をさせていただいたところでございます。

この教育大綱については、委員の皆様からいただいたご意見に基づいて、作成させていただいたところでございます。速やかに町のホームページにも掲載し、広く町民にも理解を求めているところでございます。

そのような中で、平成27年度に策定した教育大綱につきましては、私の4期目の任期を迎える関係で、平成27年度から平成29年度までとしていたところでありす。

本日の会議では、平成29年度を期限として迎えている教育大綱について、その新たな教育大綱として町長が策定することになっているわけでございますが、私の5期目のスタートの年度中に策定を目指し、その策定案を本日提案をさせていただきたいと考えております。

御承知のとおり厚岸町の上位の法として第5期厚岸町総合計画というものがあります。これも、平成31年で終わるわけでございますが、それとの整合性を考えながら策定していかなければならないと考えているところでありす。

厚岸町総合計画におきましては、第4章の中で個性と感性がきらめくまちづくりとして教育行政について記載されているところがございます。

行政においても第5期厚岸町総合計画の見直しにあたって、作業をまもなく始めようとしているところであり、また、未来創生という新しい人口減少の課題を背負っての計画を新しいものにしていかなければならない、国、地方、厚岸町におきましても過渡期を迎えているわけでございます。

どうかこの点につきましても御承知を頂き、色々ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。次第でございます。

予算編成の時期でもあります。国では骨格予算が決定し、それぞれの部署において予算策定作業が進められているところであり、厚岸町も教育委員会のヒアリングを終わらせていただきました。最終的な判断は私ではありますが、どのような教育予算を編成すべきか新しい時代を迎えた教育のあり方を考えながら予算編成をさせていただきたいと考えておりますので、この点もよろしくようお願い申し上げます。

本日は色々な課題が沢山あります。どうか忌憚のない御意見をいただきますことを、心からよろしくお願い申し上げます。

○司会（総務課長）

本日の会議の進行につきましては、厚岸町総合教育会議設置要綱に基づき町長が議長となり進めていただきます。よろしくお願い致します。

○議長（町長）

それでは、さっそく審議に入ります。「(1) 厚岸町教育大綱の策定について」を協議させていただきます。

事務局から説明をさせます。

○事務局（総務課長）

■(1)説明・協議事項「(1)厚岸町教育大綱の策定について」

「(1) 厚岸町教育大綱の策定について」でございます。その提案理由と内容について、ご説明申し上げます。

資料1 厚岸町教育大綱案及び資料1 説明資料厚岸町教育大綱案新旧比較表を御用意いただきたいと思います。

説明に当たっては、資料1 説明資料厚岸町教育大綱新旧対照表により行ないますので、資料1 説明資料を御覧願います。なお、資料1 厚岸町教育大綱案は、参考に供していただきたいと思います。

また、資料1 説明資料は新旧比較表としておりますが、この度の策定は、現行の大綱の実施期間が、平成27年度から平成29年度までとされており、この度は、平成30年度からの新たな大綱を策定する内容となりますことから、ここでは、新・旧という文字を使用させていただいたものでありますので、あらかじめ御了承願います。

資料1 説明資料新旧比較表により、策定内容について説明

○議長（町長）

ただいま事務局から説明がありましたが、審議については、項目別に行ないますかそれとも、総体的に行ないますか。

○濱委員

総体的に審議してよろしいのではないのでしょうか。

○議長（町長）

それでは総体的な中で御意見あればお願いします。

○濱委員

総体的に今回改定ということで、改定案が出されていますが、今後2年間行なっていく教育における要素が盛り込まれていて、凄く良い改定になっていると思います。

この改定（案）通りに教育が進められれば、より良くなって行くと感じました。

○議長（町長）

その他、何かございませんか。

（意見なし）

○議長（町長）

原案通り承認いただいたものとしてよろしいですか。

（異議なし）

○議長（町長）

大綱についてはこのように決定させていただきたいと思います。

○議長（町長）

それでは、続きまして「(2)学校・家庭・地域・関係機関の連携を進め、まち全体で子どもを育てる教育環境を整える～コミュニティー・スクールについて～」を提案させていただきます。

説明をいただきます。

○事務局（総務課長）

説明につきましては、教育委員会事務局から行なっていただきます。

○教育委員会（指導室長）

■「(1)説明・協議事項」「(2) コミュニティー・スクールについて」
配付資料2により、概要と現時点における取組みについて説明

○議長（町長）

今CSの説明があったわけですが、本当に大変な時代を迎えているわけであります。少子化の問題であります。過去においても上尾幌、糸魚沢、厚静、つい最近では床潭小学校が閉校になったわけであります。

今後は高知小中学校をどうするのかという課題もあるわけであります。少子化の時代を迎えた教育のあり方の中でのCSになるのではなかろうかと思うわけであります。

厚岸町も当然考慮しながら、教育行政を推進して行かなければならないと考えております。

ただいまの説明に関しまして何かお尋ねがあればお願いします。

○田辺委員

教育委員会の中でも、コミュニティースクールについて協議してきましたが、これからの時代、教育を進めていく上では、PTAと学校、地域との連携というのをより高めて行かなければならないと、一致した考えの中で進めて行くべきものと合意をしております。

色々と前例もありますが、厚岸町の中で進めていくときには、実効性のあるような状況にしていかなければならない。欲張って手を広げるのではなく、出来るものから進めて行く、足りないものを補充していくという方向性が良いのではないかと、校長会等での話し合いもあるでしょうし、そのような中でPTA、地域とも研究しながら、コミュニティースクールのあり方というものを十分理解した上で取り組んで行き、教育委員会も情報提供しながら、より良い方向に持って行く様な形で、小さな事からでも取り組んで行くべきと、教育委員会として考えがまとまっている状況であります。

○濱委員

コミュニティースクールについてはすごく大事で、これからはこのような形で、活動して行かなければならないだろうと思います。

最近、地方の学校が閉校になっているので、コミュニティースクールをすることによって、閉校になった生徒が新しい学校に移った時に、新しい学校と一体感を持っていただけると良いのではないかと思います。

各地区で学校が無くなり、その地区のものが無くなるという感覚があり、凄く寂しい感じがありますが、新しい学校が、新たな新しい学校として思ってもらえるような、閉校になった地区の住民も、新しい学校に参加してもらえるような形になっていけば、新しい学校は、今度は自分の新しい学校だと、認識を持ってもらえると思います。

是非とも、このコミュニティースクールを通して、学校がバス通学もしている地区を含めた、一体感がある学校に生まれ変わっていけば、素晴らしいのではないかと思います。

○議長（町長）

その他、御意見ございませんか。

（意見なし）

○議長（町長）

これからは学校運営協議会というものを設置し、地域住民と教職員とのそれぞれの代表者が話し合い、一体となった中での学校運営を考えて行かなければならないということになりますので、この点においても御支援をお願いしたいと思います。

○議長（町長）

それでは、続きまして「(3)児童生徒に多様で幅広い学びを提供するICT環境の充実～教育用携帯型情報端末導入について」を説明させていただきます。

○事務局（総務課長）

説明については、教育委員会事務局から行なっていただきます。

○教育委員会（管理課長・指導室長）

■(1)説明・協議事項「(3)教育用携帯型情報端末導入について」

配付資料3により、導入の目的、現在までの経過、導入校における検証結果、今後の計画について説明

○議長（町長）

このことについては、先程の厚岸町教育大綱を決定いただいた、基本指針2安心・安全で質の高い教育環境の充実の中に謳っている課題であります。皆様から何か御意見ありませんか。

○田辺委員

私もタブレットを導入した後の運用が、どのように効果的に使われるのか興味があり、実際に太田の学校で使われている授業を、教育委員全員で授業参観してきました。

その時は理科の授業でタブレットを使っている状況を見たんですけども、タブレットの機動性をうまく利用して、子ども達が授業に実際に取り組んでいる目や態度ですとか非常に集中してやっていた。

自分で撮影してきたものを基に発見してきたものを発表している姿を見ますと、タブレットは非常に有効性があると感じてきました。

タブレットの使い方に関しては、まだ、発展途上ではないかと考えております。どのように使っていけば有効に使えるのか、先生方も色々と考えながら取り組んできていると思いますが、有効に使えば将来性はあると感じてきました。

実際にこれから厚岸小学校、厚岸中学校、真龍小学校、真龍中学校に広げて行ってほしいと思いますが、先生方の要望にもありましたように、Wi-Fiの環境やアプリの導入、セキュリティの問題もあるでしょうけれど、活用していく上での色々な誓約なりハード施設の充実等の要望が出てきております。

より良く使っていく上で、このような物が必要なんだと、これがあればもっとこういうことができるのではないかと、現場の中で実際に使ってみて出てきている。このような要望を十分に吟味しながら整備して行けば、より良くより効果的に使っていけるのではと考えておりますので、予算化の課題も出てきていますが、その辺の御理解もお願いしたい。

○濱委員

導入して1年以上経ちますが、思ったよりうまく利用できていると思いました。

先生も当初戸惑いながら学習を進めていったと思いますが、上手く利用して子ども達が自主的に発表する機会等を持つということは、従来の授業よりは、自分で調べたことを発表するというスタイルがどんどん確立していくと思いますし、うまく授業に利用されていけば、子ども達の自主性がうまく育んでいけるのではないかと、授業参観を見て感じました。

○議長（町長）

御承知のとおり多額な予算が必要であります。私も先程申し上げましたが、今、来年度に向けて予算編成中でございます。特にその基になる3カ年実施計画がありますが、その中に取り入れるかどうかという段階であり、先日ヒアリングをいたしたところであります。

説明がありました太田小学校、太田中学校における総括が大事であると申し上げてきたところでありますが、その総括が出来たようでありますので、その成果を皆様方の意見を踏まえながら、年次計画に取り入れるように考えてまいりたいと思いますので御理解を頂きたいと思っております。

○議長（町長）

それでは、続きまして「(4) 知識を広げ、豊かな情操を育む学校図書館や情報館の有効活用～学校図書館活用について～」を説明いたします。

○事務局（総務課長）

本件につきましても、教育委員会事務局から説明をお願いしたいと思います。

○教育委員会（管理課長）

■(1)説明・協議事項「(4) 学校図書館活用についてについて」

配付資料4により、学校図書館の活用方法、学校図書館及び児童生徒の状況、学校司書の役割、今後の計画について説明

○議長（町長）

この問題は新しい課題であると思っております。

司書教諭は12学級以上は置かなければならないということになってはいますが、しかし、厚岸町は、司書教諭が居るのは1校だけという実態でありますので、今後、学校司書の獲得、そしてまた情報館との連携等極めて課題の多い問題と考えております。

更に予算を伴う事業でもあります。今の課題を説明いただいたわけではありますが、更にお聞きしたい点がありましたらいかがですか。

○濱委員

まず、臨時職員でも良いので専任の学校司書を導入していただいて、本当に学校司書が必要だという認識を持ってもらうのが大事だと思っている。

特に、小学校の場合は、低学年のうちから本を読む週間をつけることによって、後

々継続的に本を読むということがなされていくと思われま

す。
なかなか本と直接触れ合う機会が、現在の小学校の中で限られている現状を考えると是非とも、専任の学校司書が本を紹介したり本の楽しさを教えるなりして、本と触れ合う機会を進めることによって、将来的に大人になるまで本を読む週間が、身につけていくことが大事では無いかと思っています。

最近では学力テストの調査なんかでは、読書をする子の方が、間違いなく学習意欲に繋がっていく現状がある中で、是非とも厚岸町の子にも本を読む週間を確実につけていってもらおうということで、専任の学校司書をまず1校つけていただいて、どのような効果があるか、実感していかなければならないのではと思います。

○議長（町長）

そのほか御意見ありませんか。

○田辺委員

幸いにして本の森情報館という全道的にも誇る図書館施設がありますから、それを有効に活用していく上では、小さい子どもの時から読書に対する興味を持たせることが、さらに生涯学習全体的からいっても底上げになってくると考えます。

実際に情報館でも、ブックスタート事業が行なわれ、これは小さい幼児期から保護者含めて本に興味を持ってもらおうということで進めている事業ではありますが、そのような小さい段階から積み重ねが将来生きてくると思います。

濱委員からも言いましたが、小学校の中で興味を持ってもらおうと、今の学校の先生が携わっていくというのは、業務量が多くて現実的に無理な部分があります。

そのような事で、専門の人が子ども達に読ませたい図書を提供していく体制を整えることが必要ではないかと思しますので御理解いただければと思います。

○議長（町長）

この点につきましては、全国学力テストを見ましても、厚岸町はその点は弱いと言われておりますので、町長として理解しながら、年次計画に取り入れることができたらと思っております。

財政厳しい中、それぞれお金が掛かる課題ばかりではありますが、その点私なりに、今、皆様から御意見がありましたので、理解しながら進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げたいと存じます。

○議長（町長）

それでは、いよいよ最後になりますが、せっかくの機会でありますので、「(5) その他について」委員の皆さんから、何かございませんでしょうか。

(意見なし)

○議長（町長）

最後に私から教育行政に関する課題、教育組織に関する課題を、私なりに5期目を迎えて考えていることがございますので、せっかくの機会でありますので述べさせていただきます。

このことについては、新教育長ともお話ししているところでもあります。

「知・徳・体」と言われますが、今回は更に食育という課題もあるわけですが、私はこれから厚岸町を文化・スポーツにもっと力を入れていただきたい。施設等も当然大事な問題であります、やはり教育環境の中では、この課題を一つの重点事項として、色々これから考えていただけないかと教育長にもお話をさせていただいているわけがあります。

そこで、組織の関係であります、教育委員会には3課あります。できれば私は統合した方が良く思っているのですが、教育長は現行のままでという考えでありますので、私は行政組織機構改善検討委員会を大事にしたいという考えであります。しかしながら、体育振興課について見直して、新しいこれからの時代に合った課にすべきでなかろうかと思っております。と言いますのは、体育というのは、この頃は幅広い広義の意味を持つようになりました。

昔流で言えばラジオ体操が体育でありましたが、体づくりでなくては、癒やしとか仲間づくりとか色々関係してくる。広くは保健体育といいましょうか、特にあみかにも通じる、人生90年になろうといたしておりますが、お年寄りの方々も大変スポーツに対しまして興味を持つようになりました。例をとりますとパークゴルフであります。時代の流れの中で、学校教育だけの体育だけではなく、生涯体育と言いましょうか、そういう時代を迎えているのではなかろうかと思っております。

そういう点につきまして、教育委員の皆様方におかれまして、更なる考え方があれば、色々そういう方向に向けていただければ、大変ありがたいと私は考えておりますので、この点よろしくお願い申し上げます。

教育長この点について、何かお考えありますか。

○酒井教育長

生涯スポーツの振興ということで、今、お話を聞かせていただきました。

そういう意味では、この教育大綱(案)の文章に明確に盛り込まれていないですが、理念としては小さなお子さんからお年寄りまで含めたスポーツの振興というものがどうあるべきなのか、今までやってきたことがどうであったのか、その辺をからめてもう一度体育振興課の事業の推進については、考えて見直しを図る必要があると受け止めています。

○議長(町長)

もう一つは、有名選手を出したから、それが立派だというものではないと思います。

しかしながら、その成果をある程度、対外に表すというのが大事などではなかろうかと、私は思っているわけがあります。

例えば、スケートで言えば佐藤綾乃、野球で言うのであるならば北海高校、それぞれ優秀なスポーツマンが出ているわけがあります。

残念な事に厚岸出身でありますけれども、翔洋高校のことではありますが、中々地元で育っていかないという点もありまして、地元でそういう選手が育つということも、私は夢として持っているわけではありますが、佐藤綾乃はオリンピック選手に選ばれるのではなかろうかという期待を持っているわけではありますが、素質のある選手も出ているわけありますので、将来に向かって育成していただければと思っております。

○議長（町長）

その他、何かございませんか

○議長（町長）

今、困っている問題としては少子化ですね。

特に厚岸小学校は床潭小学校と統合しましたが、1クラスに満たない時代。今、厚岸町の人口が9,700人となっております。厚岸大橋を中心として湖南、湖北ということで町並みがあるわけではありますが、湖北地区は若干人口は保たれておりますが、湖南地区の人口は減少しております。厚岸大橋を中心として見ますところ、湖北地区と湖南地区では、湖北地区は湖南地区の人口が倍になります。ですから、真龍小学校や真龍中学校においては、これからの学校としての運営は十分に保たれていくであろうと思っておりますが、厚岸小学校は厚岸町としては大きな学校ですが、難しい時代がくるのではなかろうかという気がします。今年も厚岸小学校の1年生は14名。今、太田小学校が安定しています。今年の入学生は6名ですか？

○教育委員会（指導室長）

特別支援在籍も含めて8名となっております。

○議長（町長）

そういう実態です。

それから、高知小中学校については、また皆さんの意見を聞いていかなければならないと思っております。

昔、糸魚沢小学校が無くなるという時、私の時代では無いですが、相当反対運動があったようですね。

たしかに地域においては、学校が核だったですよ。運動会や何かをやるといっても、地域を上げてやりましたから、ところが、この頃は子どもの立場になって、地域なり親の立場では無くて、子どもの立場になって、物事を考えていくようになったということは私は大変ありがたい事だと思います。そうでなければなりませんよね。

やはり学校教育の効果を上げるには、クラブ活動や何をするにあたっては、ある程度生徒数がなければ。保険会社がアンケート調査を行なったところ、男の子はスポーツマン、女の子はお菓子屋になりたいとのことなんですね。そうすると野球チームもできない、何もすることができない生徒数では、かつては厚岸オーシャン厚岸小学校が良い成績を修めていましたが、釧路管内でも有名なチームでしたけれども、今は真龍小学校と一緒にやらないと集まらないという具合になってしましまして、そ

ういうことで酒井教育長現場を良く知っている先生でありますので、よろしくお願
いしたいと思います。教育委員の皆様におかれましても、私は、まちづくりは人づくり
と思って、私は頑張っていますので、この点どうぞよろしくお願
いしたいと思います。

余談で色々とお話をしましたが、何かありますか。

無ければ、以上で今日は終わらせていただいて結構ですか。

それでは以上で終わらせていただきます。今後ともよろしくお願
いします。